

学位論文要約

これまで、移民といえば就労の機会を求める経済的な理由からの移住者であり、どちらかというところ「移住せざるを得ない理由から移住する」というような、生きてきたための必然的な移住であった。しかし、近年では、このような必然性は無く、自己実現のためや理想のライフスタイルを追い求める「移住したいから移住する」という、自発的な移住が増加している。例えば、スローライフを求め農山村へ移住することを指す、田園回帰がその一例である。このような理想のライフスタイルを求めた自発的な移住形態を「経済的理由あるいは仕事や政治的な理由など伝統的に主流であった移住理由からではなく、より広範な意味での生活の質を重視して移住するもの」と定義し、ライフスタイル移住として概念化されている(Benson, 2009)。ライフスタイル移住者の多くが中間層に属しており、移住に際しては経済的理由以外の要素が大きな役割を果たしているとし、ライフスタイル移住はこの二点を基軸にした概念だとしている(長友, 2013)。このライフスタイル移住の起源は、1970年代欧米においてブームになった、国際退職者移住が始まりである。この国際退職者移住は、過去の観光経験との関連が強いことが指摘されてきている。しかし、これまでライフスタイル移住の動機に関する研究に焦点化されており、観光経験については、プル動機における一つの要因という扱いにとどまっている。すなわち、観光経験とライフスタイル移住との関連に焦点を当てた研究はほとんどされていない状況である。そこで、本研究では、この観光経験とライフスタイル移住意思決定の関係について焦点化し研究を行った。その研究方法については文献研究および実証研究を用いた。まず、文献研究によって、観光経験とライフスタイル移住の関係を示した、研究の全体像を把握した。その結果、観光経験がライフスタイル移住意思決定に影響を与える要因として、動機(プル要因)、精通度、知覚リスク低減、ソーシャルキャピタル、満足といった内在的要因と、適切な環境条件、インフラ、アクセスの良さといった外在的要因があることが明らかになった。しかし、これら研究においては、移住意思決定プロセスの側面から、このような要因が、どのようなプロセスにおいて、いかなる影響を与えるのかについては明らかになっていないことが分かった。そこで、本研究では、内在的要因に着目し、観光経験とライフスタイル移住の意思決定を結びつける心理的媒介要因についての検討を行った。心理的媒介要因については、消費者行動研究で用いられ、その後、レジャー研究でも多く用いられた「関与」の適用可能性について検討することとした。レジャーや観光に関する関与研究の

レビューを行った結果、これまでの実証研究において、多く有用な結論が得られていることが明らかになったため、本研究の観光経験とライフスタイル移住の関係を示すフレームワークとして適用可能であると判断した。これらの文献レビューを踏まえ、次に実証研究を行った。実証研究については、研究対象地を検討した結果、沖縄県とし。沖縄県への観光者、潜在的ライフスタイル移住者、そしてライフスタイル移住者に行った。そして、その内容として、移住プロセスに関する研究と関与のフレームワーク適用に関する研究をそれぞれ行い、この2つの結果を基に、最終的に観光経験から移住意思決定プロセスのモデルの構築と検証を行った。移住プロセスについては、ライフスタイル移住意思決定を行った移住者への聞き取りによる定性的な調査によって、観光経験からライフスタイル移住意思決定に至る過程と、影響要因について詳細に聞き取りを行い、M-GTA分析によって概念化とプロセス化を行った。次に、関与については、関与が観光行動に与える影響について、観光者へ調査を行い、ライフスタイル移住意思決定への適用可能性について検討を行った。そして、定性調査によって明らかになった移住意思決定プロセスに、関与を適用しこのプロセスの定量的に検証のため、沖縄へ観光経験のある潜在的移住者へアンケート調査を行った。そして、観光経験からライフスタイル移住意思決定プロセスについては、共分散構造分析によって検証を行った。その結果、観光経験については、自己の成長を感じる「自己拡大」が、沖縄が自己のアイデンティティの一部を形成するとした概念である「同一化」に影響を与え、この同一化が、ライフスタイル移住意思決定に最も影響を与えることが明らかになった。

以上の研究結果から、本研究の意義について述べる。これまで、ライフスタイル移住意思決定における要因にて、先行研究で明らかになった内在的要因に、観光経験による「自己拡大」から「同一化」へ至るというプロセスと、二つの要因が存在することを明らかにした。そして、観光経験から移住意思決定プロセスのモデルの構築できたことが、本研究の最も大きな意義だと考える。